

平成 28 年熊本地震「徳島県教育支援チーム」の活動報告会について

- 1 目的 この度の熊本地震に関し、益城町において教育支援に従事してきた教員から活動報告をすることにより、現場で求められる教育支援のあり方を学び、各学校の災害対応能力を上げることで、学校防災管理の充実を図る。
- 2 日時 平成 28 年 7 月 22 日（金） 13:30 ～ 16:00
- 3 会場 徳島県教育会館 大ホール（徳島市北田宮 1 丁目 8 - 6 8）
- 4 参加対象 ・ 小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の防災教育担当者
・ 県、市町村教育委員会担当者 等
- 5 日程
 - 13:00 ～ 13:30 受付
 - 13:30 開会行事
 - 報告会①（教育支援チームの活動（第 1 陣））
体育学校安全課 班長
 - 報告会②（教育支援チームの活動（第 6 陣））
助任小学校 教頭
 - 報告会③（熊本地震における兵庫県 EARTH の活動）
兵庫県 EARTH より
 - 休憩
 - パネルディスカッション
 - （1）テーマ：被災時の学校再開に向けた課題について
 - （2）コーディネーター：徳島大学大学院教授
環境防災研究センター・センター長
 - （3）パネリスト：兵庫県 EARTH より
板野支援学校 教頭
国府小学校 養護教諭
施設整備課 主任主事
 - 16:00 閉会

徳島県内の公立学校施設における耐震化の状況について

1 文部科学省による調査結果（平成28年4月1日時点）

【学校施設の耐震化】

	耐震化率（％）	
	H27	H28
小中学校	97.7	99.1
高等学校	88.4	95.9
特別支援学校	100	100
幼稚園	88.7	93.4

【非構造部材】

○国が指定した非構造部材（体育館等の吊り天井、照明器具、バスケットゴール）

	体育館等の吊り天井落下対策未実施	
	H27	H28
小中学校	16棟	5棟

○学校設置者が「人に重大な被害を与える恐れがある」と判断する非構造部材

	耐震対策実施率（％）	
	H27	H28
小中学校	88.3	90.4
高等学校	100	97.1
特別支援学校	90.9	90.9
幼稚園	90.1	91.1

2 県における非構造部材の耐震化の取組状況

東日本大震災を教訓に、平成23年度に「県立学校避難所施設強化・充実事業」を創設し、非構造部材の耐震化にいち早く取り組んでいるところ。

6月補正で体育館の天井材落下防止対策工事を前倒し実施する。

3 国の動き

文部科学省では、6月13日に有識者による検討会を設置し、熊本地震の被害状況を踏まえて、これまでの学校施設の耐震化の取組を検証し、今後の方向性について検討し、取りまとめを行う。